

平成30年度 公立大学法人尾道市立大学
第1回理事会・経営審議会 議事要旨

1 日時 平成30年6月19日(火) 午後3時00分～午後4時20分

2 場所 尾道市立大学E棟1階第120会議室

3 議事

- (1) 理事長選考会議委員の選出について
- (2) 平成29年度決算(案)について
- (3) 平成29年度業務実績報告(案)について
- (4) 第一期中期目標・中期計画に係る業務実績報告(案)について
- (5) 平成31年度教職員人事方針(案)について
- (6) その他

4 審議結果等

- (1) (第1号議案) 理事長選考会議委員の選出について

【説明内容】

理事長選考会議委員任期満了に伴う委員の選出について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

特になし

【審議結果】

理事長選考会議委員に選出する3名(田邊委員・津浦委員・寺山委員)を決定した。

- (2) (第2号議案) 平成29年度決算(案)について

【説明内容】

平成29年度決算(案)について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

特になし

【審議結果】

第2号議案は、原案通り承認された。

- (3) (第3号議案) 平成29年度業務実績報告(案)について

【説明内容】

平成29年度業務実績報告（案）について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

- 経済情報学科の英語によるオムニバス形式の講義が実施に至らなかった原因について説明してほしい。
- 英語で専門教育を行う目的だが、検討する十分な時間がなかった。15コマを3コースの教員で割り振って授業を行いたい。今後、国際交流を推進していく過程で協定校から英語での授業開催を要請されている。また、留学生受入を促進するためにも英語の授業は必要である。この授業は留学生及び海外留学したい学生を対象と考えている。
- 科研申請・採択は教員の評価に反映しているのか。
- 科研申請件数は増加している。これは、研究費の配分に科研申請を評価対象に入れたことも反映していると考えられる。これからは、申請を採択増加へ結び付けていきたい。特に、若手教員の採択のウエイトを増やしたい。そのための支援を検討している。
- 授業評価アンケートを学期内に2回実施していることは評価できる。アンケートの回答率はどうなっているのか。
- 学期末でのものよりも、学期の中間で実施したものの方が回答率は下がる。学期の中間で実施することで、同学期内・授業内で問題点を改善することが出来る。
- ウェブで実施すると、回答者の出席率や成績等が分析できるので、結果とリンクさせて改善に活用してはどうか。また、授業を改善することが目的であるので、名称を「授業改善アンケート」に変更してはどうか。
- 教員・学生の双方にとって改善されるように活用していく。

【審議結果】

第3号議案は、原案通り承認された。

(4) (第4号議案) 第1期中期目標・中期計画に係る業務実績報告（案）について

【説明内容】

第1期中期目標・中期計画に係る実績報告（案）について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

- 認証評価は外部評価としているが、第三者評価に訂正するよう要請する。
- 設備の整備については、美術学科の工房設備も含まれているのか。
- 美術学科の工房設備も含め、設備の整備を進めていく。

【審議結果】

第4号議案は、字句訂正の上、承認された。

(5) (第5号議案) 平成31年度教職員人事方針(案)について

【説明内容】

教職員採用計画及び昇任計画等について、説明

【主な質疑と応答、意見】

特になし

【審議結果】

第5号議案は、原案通り承認された。

(6) その他

【報告事項】

平成30年度前期減免申請状況について、説明

【主な質疑と応答、意見】

- 全額と半額の基準について説明してほしい。
- 文部科学省が提示している国立学校の基準に従っている。
- 今後は政府の「骨太の方針」によって授業料無償化や減免にも影響が出てくると考えられる。
- 本学でも、学生にとってより良いものになるように努めていく。

議事終了